

子どもたちの安全確保・学びの保障のために

「感染しやすい」デルタ株への対応

8月31日現在、市内においては、感染しやすいデルタ株に置き換わり、感染の拡大が進んでいます。夏休み中の8月には、子どもの陽性者が急増しています。

夏休みが明け、学校の教育活動が再開されますが、2学期の学校での感染者の増加が強く懸念されます。子どもたちの「安全確保・学びの保障」のために、学校での感染拡大防止に向け保護者の皆さまにも次の点について改めてご協力いただきますようお願いします。

市内小中学校の月別感染者数



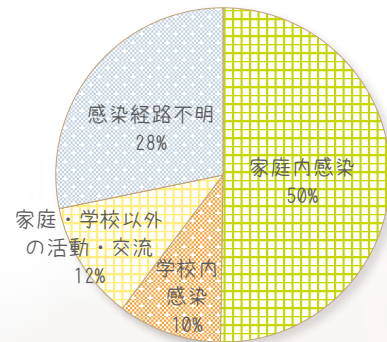
お子様・ご家族に「症状がある」場合は、「自宅で休養」しましょう



発熱の有無に関わらず、お子様・ご家族にだるさ、せき、のどの痛み等、風邪の症状がみられる場合は、症状がなくなるまで、自宅で休養していただくようお願いします。この場合、欠席扱いにはなりません。

【これまでの校内感染事例の特徴】

- ・微熱があったが、薬を飲んで登校し続け、後に感染が判明し、校内で感染が拡大。
- ・同居する家族にのどの痛みがあったが、症状が軽かったため、本人は登校したが、後日家族全員の感染が判明し、校内で感染が拡大。



市内小中学生の感染状況

PCR 検査または抗原検査を受けることになったら学校へご連絡ください



学校での感染拡大を防止するためには、感染が判明した後の迅速な対応（臨時休業等）が必要になります。そのため、PCR 検査または抗原検査を受けることになった場合、可能な限り速やかに学校に連絡していただくようお願いします。

※学校が休日の場合は、うるま市役所 ☎098-974-3111 にご連絡ください。

自宅での感染予防 8つのポイント

できるだけ部屋を分けましょう

- * 感染した方が療養する部屋と他の家族がいる部屋をできるだけ分けましょう。換気の良い個室が望ましいですが、難しい場合は、できる限り距離を保ち、仕切りやカーテンを利用するなど、可能な限りウイルスの飛沫を防ぐようにしましょう。
- * 感染した本人は、自宅内でもできるだけ部屋から出ず、必要最小限の行動にとどめましょう。
- * 食事はできるだけ自分の部屋でとります。食事の介助や付き添いが必要な場合は、お部屋の換気を十分に行い、介助する方はマスクを必ずつけましょう。

身の回りのお世話や看病は

- * 看病をする人を限定（可能ならお1人で）することで、接触リスクを減らすことができます。
- * お部屋に入るときや看病するときは、感染した本人も、看病する人も、どちらも必ずマスクをつけましょう。
- * 体を拭いたり体液や排泄物に触れるときは、プラスチック製の使い捨て手袋やエプロンを使用しましょう。
- * 部屋を出たあとはすぐに手を洗いましょう。

家族全員マスクをつけましょう

- * 感染した本人、家族の両方がマスク(可能な限り不織布マスク)をつけることで、ウイルスの拡散を防ぎます。
- * 使用したマスクは他の部屋に持ち出さず、すぐに捨てるようにしましょう。
- * 手洗いや消毒をする前に、ご自身のマスクの外側の面や目・口に直接触れないように注意しましょう。

ゴミは密閉して捨てましょう

- * 感染した本人が使用したティッシュやマスクなどは、すぐにビニール袋にいれましょう。
- * ゴミ箱は本人専用のものを用意しましょう。
- * 捨てるときはビニール袋の口をしっかりと縛りましょう。その際、中のゴミに触れないように注意しましょう。
- * 作業後はよく手を洗いましょう。

小まめに手洗いをしましょう

- * 流水とせっけんで小まめに手洗いをします。
- * 手拭き用のタオルは共有せず、感染した本人と他の家族のタオルを分けましょう。
- * トイレや洗面所など、家族が共有する場所では、感染した本人の使用後、手で触った可能性のある場所を消毒しましょう。

日中はできるだけ換気をしましょう

- * お部屋は定期的に換気をしましょう。
- * 常時窓を開けるか、難しい場合は1時間に1回、10分程度大きく窓を開けて空気を入れ替えます。
- * エアコンや換気扇を回して、空気の流れを作りましょう。

共有部分の掃除・消毒をしましょう

- * 共有場所は十分換気をしましょう。
- * 手すり、テーブル、ドアノブ、照明のスイッチやリモコン、洗面台やトイレのレバーなど、よく触れる場所を消毒します。
- * 感染した本人には、部屋の外ではあちこち触らせないようにしましょう。
- * 食器やタオル、シーツ類の共有は避けましょう。
- * お風呂の順番は、感染している本人を最後にしましょう。
- * 浴室は洗剤とシャワーで洗い流すと良いでしょう。

汚れたリネン衣服を洗濯しましょう

- * 本人のタオルやシーツ衣類など、通常の洗濯行って大丈夫です。
- * 汚れたリネンや衣服に触れる場合、手袋とマスクを着用しましょう。
- * 洗濯後は完全に乾かしましょう。乾燥機を利用することも有効です。
- * 汚れがひどい場合は熱湯消毒してから洗濯すると良いでしょう。

家庭内での感染
拡大に注意しよう！

